

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度高松市歴史資料館等協議会
開 催 日 時	平成30年5月24日(木) 13時30分～15時45分
開 催 場 所	サンクリスタル高松3階 第1集会室
議 題 (報 告 内 容)	(1) 平成29年度高松市歴史資料館等事業実績について (2) 平成30年度高松市歴史資料館等事業計画(案)について (3) その他
公 開 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	丹羽委員、田中委員、小西委員、永安委員、太田委員、鎌田委員、 松下委員、奥谷委員、馬場委員、村山委員 (欠席：池田委員)
傍 聴 者	0人
担当課及び連絡先	文化財課 歴史資料館 電話 861-4520

会議内容

議題について報告し、次のとおり各委員から意見が出された。

議題(1) 平成29年度高松市歴史資料館等事業実績について

(委員)

石の民俗資料館は、「石」だけでは企画が限られそうなので、もう少しテーマを広げてみてもいいと思う。

香南歴史民俗郷土館は、高松南部地区(香川町・香南町・塩江町)が阿讃の交通路として重要な役割を担っていたことを捉えて企画してみてもどうか。

(事務局)

昨年度の協議会での意見を基に、香南歴史民俗郷土館では「ガソリンカー」の名で知られる旧塩江温泉鉄道の企画展を開催した。

今後も、各館の目的を踏まえた展示等を企画していきたい。

(委員)

展示企画のプランナーについて、町史等にも掲載されるような郷土史に熱心な方が多くいるので、地元の方を中心に人選してみてもどうか。

(事務局)

講座内容等によるが、地元の方にも協力をお願いしていきたい。

(委員)

展示等の案内を「広報たかまつ」に掲載しているが、意外と読まれていないと思うので情報発信の方法を変えてみてはどうか。

また、企画によって、ターゲットを絞ってみてはどうか。

(委員)

丸亀市の資料館では、刀剣展等で県外からの来館者も多い。

高松市の資料館では、県外に向けて広報活動をしているのか。

(事務局)

昨年度からウェブサイト「インターネットミュージアム」を積極的に活用し、全国に向けて情報発信に努めている。

今後も、「広報たかまつ」だけでなく、インターネット・SNS等を積極的に活用し、幅広い年齢層に情報発信していきたい。

(委員)

サンクリスタル学習の参加校は、どのような状況か。

(事務局)

市内の国公立小学校6年生を対象としているが、各学校の事情もあり、全学校参加までには至っていない。

できるだけ多くの学校に参加してもらうため、毎年、事前説明会を開催しており、市側で学校とサンクリスタル高松間の往復バスを手配し、当該費用も予算化している。

今後も、積極的に学校へ参加を呼び掛けていきたい。

(委員)

各館の入館料は、どのような状況か。

(事務局)

香南歴史民俗郷土館は、貸館による施設使用料はあるが、観覧料は無料としている。

他の館は、規定の観覧料があり、過去には特別展は別料金という時期もあった。

(委員)

石の民俗資料館のいきものフィギュア展、讃岐国分寺跡資料館の天平衣装体験などを、開催終了後に他の館で再開催することはできないのか。

(事務局)

作家等の意向によって開催しているものもあり、巡回させることが難しいものもあるが、昨年度に歴史資料館で開催した「戦国時代の高松」は、本年度に巡回展として開催する予定である。

(委員)

各館の目的として「教育普及活動の場」であるなど、少し堅苦しい気もする。飲み物を飲みながら「くつろぎの場・おしゃべりの場」とすることはできないのか。

(委員)

人を集める意味では、飲食は有効とも考えられる。

コンビニエンスストアでも、店内で飲食できる所もあるので、エントランスホールなど可能な場所を検討してはどうか。

(事務局)

飲食行為は、資料館という施設の性質上、困難であるが、歴史資料館が所在するサンクリスタル高松には、1階に飲食可能なスペースがある。

今後は、御意見を参考に、気軽に来館できる施設となるよう工夫していきたい。

(委員)

各館へ展示を巡回させるのは良いと思うが、巡回先でその地域に関連するような展示を付け加えるのはどうか。

人手が少ないときは、歴史資料館をはじめ各館から手伝いに行くなど、フォロー体制も必要である。

(事務局)

昨年度から全館職員が集まり、各館持ち回りで合同研修を行い、情報交換等を積極的に行っており、各館で協力体制が取れるようにするとともに、お互いに知恵を出し合っ
て展示に生かせるよう努めているので、今後も継続していきたい。

議題（２）平成３０年度高松市歴史資料館等事業計画（案）について

(委員)

歴史資料館は開館２０年以上経過しているが、コンセプトを保ちつつ展示替えを行っ
て努力していると思う。

特に夏休み時期は、子どもたちを多く呼べる機会だと思うが、もう少しアピールでき
るタイトルを考えてみてはどうか。

(事務局)

児童・生徒に興味を持ってもらえるようなキャッチーなコピーを検討していきたい。

(委員)

学生らが、施設をただ見学するだけでなくそこで学べるような、さらに、社会科の授
業に取り込めるような事業があればいいのではないか。歴史に興味を持つきっかけを掴
めるような企画があればいいと思う。

また、「高松へ来て良かった」と思われるものを考えて、郷土を説明し語れる人材を確
保し、資料館事業と結びつけることも必要だと思う。石の民俗資料館とあじ竜王山公園
を繋げるなど、観光見学ルートの結びつけも一つの考え方だと思う。

(事務局)

現在、文化財課では「ふるさと探訪」等の事業を行っているが、各館が見学スポット
となるよう努力していきたい。

また、館で展示を見て史跡等を訪ねるようなフィールドワークも検討していきたい。

(委員)

石の民俗資料館では、「石」だけではなく、石工が使った道具もあり充実していると思うので、もっと広く知ってもらえるよう積極的に情報発信し、コンサートの実施など、ソフトとハードをうまく活用して運営してもらいたい。

(事務局)

来館いただくことが重要なので、積極的な情報発信に努め、出前講座等も活用していきたい。

(委員)

讃岐国分寺跡資料館で歴史講座を行っているが、高松西部地区に関することを伝えるのもいいと思う。

また、各地区の町史等を参考に、地域のことに詳しい人材確保につなげてほしい。

(委員)

香南歴史民俗郷土館では、空港に関する展示を計画しているが、県立文書館と協力するなど、いろいろな資料を活用すればいいと思う。

(会長)

今回出された意見を今後の資料館運営の参考にして、より良い各館の事業の実施とともに、4館が一体となった運営に努めてほしい。

(事務局)

今回いただいた御意見を基に、企画運営の充実を図り、さらなる集客に向け努めていきたい。

議題(3) その他

なし